

アスベストワーカー プロ

取扱説明書

株式会社 ユニケミー

アスベストワカール プロ 使用上のご注意

試薬の一部には毒物に該当する薬剤が含まれています。使用する場合は以下の事項にご注意ください。

- 1) 試験・研究用以外に使用しないで下さい。
- 2) 皮膚に触れたり、目に入らぬよう適切な保護具を必要に応じて使用して下さい。
- 3) 屋内で使用する場合、適切な排気装置を設け、換気を良くして取り扱って下さい。
- 4) 薬剤が目に入った場合、直ちに流水で15分以上洗い、速やかに医師の診断を受けて下さい。
- 5) 皮膚についた場合、ただちに大量の水で十分に洗い流す。痛みやかゆみが残る場合は、医師の手当を受けて下さい。
- 6) 火気を避け、小児の手の届かない冷暗所に保管して下さい。
- 7) このセットは、あくまで簡易測定用です。本製品による判定結果は法的根拠になりません。
- 8) 混在物（マグネシウム含有ケイ酸塩鉱物等）によっては、判定が困難な場合があります。その際は、機器分析で正確に判定することをお勧めします。

廃棄時の注意

- ・ 使用後の液は中和した後、排出してください。
- ・ 試薬容器等は産業廃棄物として処理してください。

本品には下記の製品が入っています。ご確認ください

基本セット：携帯用ケース1個、ロート3個、ビーカ20個、廃液入れ1本、脱脂綿1袋、蒸留水1本、攪拌棒2本、ピンセット1本、スプーン1本、判定試薬10回分

※ 最初は、基本セットを、次回からは追加試薬セットのみの購入をお勧めします。
追加試薬セット：ビーカ20個、脱脂綿1袋、蒸留水2本、判定試薬10回分

※ I～Vはディスプレイタイプ（使い捨て）です。他は繰り返し使用ができます。

◇ 測定手順

1. 付属スプーンを用いて粉碎した試料をすりすり一杯程度ビーカーに採取します。

注意：・ 試料はビニール袋に入れ指先などで細かくつぶして下さい。必要に応じて乳鉢などを使用して試料を粉碎してください。
・ 試料をあまり多く採り過ぎたり、少ないと判定が困難になる場合があります。



2. ビーカーに前処理液 1 本を全量入れ、試料とよく攪拌・混合した後、1 時間静置します。

注意：・ 前処理液が試料と混和しない時は、備え付けの攪拌棒を使用して攪拌・混合してください。

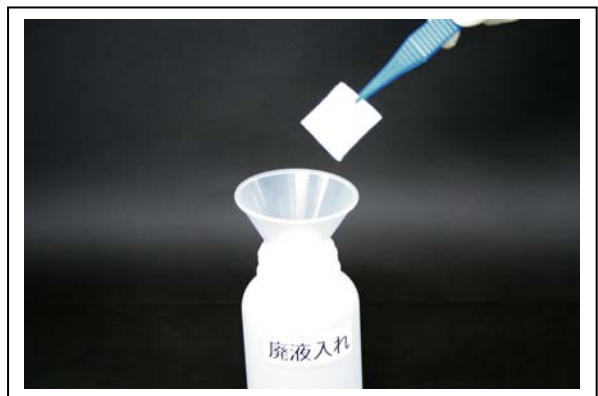


3. 廃液入れの蓋を取り、ロートを廃液入れの口に入れます。



4. ピンセットを使ってロートに脱脂綿を広げて載せます。少量の蒸留水を脱脂綿にかけてロートに密着させ、ロート下部の穴を塞ぐようにします。

注意：・ 脱脂綿 1 枚を使用してください。
・ 前処理液をろ過する際に、液が脱脂綿を通らずに落ちることのないよう、脱脂綿を十分広げてください
・ 試料が脱脂綿を通過する場合がありますが、測定には影響ありません。



5. 2. の液をロートに流し入れ、ビーカー内を蒸留水で数回洗い流します。さらに、脱脂綿全体を蒸留水で 3 回以上洗います。

注意：・ 残渣が残らないよう、ビーカーを十分、蒸留水で洗い流して下さい。



6. ろ過残渣を内側に包むように脱脂綿を折りたたみ、よく水分を絞ります。脱脂綿に蒸留水をかけ再び水をよく絞ります。この操作を2～3回繰り返し、前処理液の除去を完全に行なって下さい。
- 注意：・備え付けのピンセットを使用してください。



7. 折りたたんでよく水分を除いた脱脂綿を、新たなビーカーに移します。



8. 溶解液1本全量を入れ、ビーカーを揺らしながらよく混合した後、3分間静置します。



9. 調整液1本全量をビーカーに加え、ビーカーを揺らしながら混合します。
- 注意：・比較的強いアンモニア臭がします。換気が不十分な場所での使用を避けて下さい。



10. 呈色液全量を加え混合した後、3分間静置します。
- 液の色を観察し、次項の判定基準に従って、アスベストの有無を判定します。
- 注意：・試薬には重金属を使用していませんが、測定後の溶液はアルカリ性です。関係法令に従って処分して下さい。



◇ 判定

操作後の液の色でアスベスト含有の判定を行ないます。

アスベスト有の場合： 赤～赤紫色 または 黄褐色

アスベスト無の場合： 青～青紫色

<アスベスト有の例>



<アスベスト無の例>



以上